

NEWS BRIEFING

金星に向けて航行中

EN ROUTE TO VENUS

2010年5月27日号 Vol. 465 (402)

www.nature.com/news/2010/100526/full/465402a.html

5月21日、日本の金星探査機「あかつき」を搭載した国産ロケットが打ち上げられた。探査機は12月に金星周回軌道に入り、金星の大気を調べることになる。金星の自転速度は時速6.5kmだが、大気はそれを上回る時速400kmという猛スピードで回転している。探査機は、この「スー

パーローテーション」現象の解明をめざすほか、金星表面の火山活動の調査も行う予定である。

今回、「あかつき」と相乗りする形で、IKAROSというソーラーセイル（太陽帆）の実証機も打ち上げられた。その目標は、太陽の光圧が宇宙船の推進力になりうることを世界で初めて実証す



ることにある。IKAROSは今後数週間かけて14m²のポリイミド樹脂製の帆を開いていくが、宇宙航空研究開発機構（JAXA）の技術者たちは、その複雑な工程に神経をとがらせている。■

（翻訳：三枝小夜子）